

# 報 告 書

開催日時	平成28年8月17日(水) 19:00~20:35			
開催場所	上津江公民館			
出席議員	(1班) 嶋崎、大谷、古田、坂本(茂)、安達			
	班 長	大谷		
	司会者	古田		
	記録者	坂本(茂)		
参加人数	9名			
主な要望 ・ 提言等	○A氏 1. 空家バンクの登録数に対して、契約が成立した件数が少ないが、整合性が取れた内容になっているのか。 <table border="1"><tr><td>空家については、現在、1,200軒ある。その内、900軒は、改修すれば住める状態である。成立まで至らない理由は、購入額などで希望者の要望と合わないのではないか。</td></tr></table> 2. 雲南市の住民自治組織については、何か得るものがあるのか。視察で何をしに行くのか。それよりも、地元の資源を活かして地域おこしをして、地元の特色を活かした事業を進めていく時期ではないか。 <table border="1"><tr><td>雲南市については、10年前から取り組みをして、現在43の住民自治組織がある。町内会を始め、消防団や女性グループなどが住みよい地域づくりや協働のまちづくりを目指して、取り組みをしている。この地域に取り入れるか入れないか。という点は、また、別であると思う。</td></tr></table>		空家については、現在、1,200軒ある。その内、900軒は、改修すれば住める状態である。成立まで至らない理由は、購入額などで希望者の要望と合わないのではないか。	雲南市については、10年前から取り組みをして、現在43の住民自治組織がある。町内会を始め、消防団や女性グループなどが住みよい地域づくりや協働のまちづくりを目指して、取り組みをしている。この地域に取り入れるか入れないか。という点は、また、別であると思う。
	空家については、現在、1,200軒ある。その内、900軒は、改修すれば住める状態である。成立まで至らない理由は、購入額などで希望者の要望と合わないのではないか。			
雲南市については、10年前から取り組みをして、現在43の住民自治組織がある。町内会を始め、消防団や女性グループなどが住みよい地域づくりや協働のまちづくりを目指して、取り組みをしている。この地域に取り入れるか入れないか。という点は、また、別であると思う。				
○B氏 1. 新しい住民自治組織については、旧日田市で取り組むべきだ。もう少し、地元の特色を活かした事業にすべきであり、上津江の自治会と振興協議会は、この件については関与しない。再度、執行部から(部課長から)の説明をしてもらいたい。雲南市に行って何を見てくるのか。高齢化率も50%になり、若い人はそれぞれ仕事があり、誰もこの話に携わろうとしない。また、まちづくり推進課は、この件に関しては、何も言ってこない。それを議会で推進するのはおかしいと思う。 それよりも、振興局に予算を回し、地域おこしをすべきだ。 <table border="1"><tr><td>議会が推進しているわけではない。今は、特に自助・共助の部分を延ばしていくべきである。今年度は、実証実験的な形でやってみるべきだ。</td></tr></table>		議会が推進しているわけではない。今は、特に自助・共助の部分を延ばしていくべきである。今年度は、実証実験的な形でやってみるべきだ。		
議会が推進しているわけではない。今は、特に自助・共助の部分を延ばしていくべきである。今年度は、実証実験的な形でやってみるべきだ。				

2. 4月の地震で市道の2箇所が、未だ全面通行止めである。再度、現場を見てもらいたい。そして、何よりも復旧を急いでもらいたい。

地元の議員は、それぞれの地域において、課題の対応に寄り添っている。また、議長も特に災害については、常に対応をしている。この2箇所については、9月議会に補正予算で上がる予定であるが、土木建築部には、再度要請をする。

○C氏

1. 上津江地域は、耕作放棄地が多いが、農業振興ビジョンの中で、どのように解決をしていくのか。集落の崩壊にもつながるので、原点に帰っての農地のあり方が必要であると思う。市独自の体制づくりをしてもらいたい。

大きな問題でもあり、私たちも認識として、常に持っている。農業振興ビジョンの策定の中でも、意見として発言していきたい。

2. 政務活動費については、現在は、いくらなのか。

年間24万円である。

3. 振興局単位までに、権限（予算など）を下ろしてもらいたい。

意見として、持ち帰りたい。

○D氏

1. 林業施策について、市の取組が、よく見えない。これからは、コストの見える経営が必要である。間伐や素材生産技術を日田は持っている。また、日田は先進地でもある。しかし、振興局の職員体制にも問題がある。以前は、現場主導であった。住民にも元気が出ない状態である。まずは、仕事ができる人の育成をしてもらい、底辺にある問題点を積み上げて、解決してもらいたい。

しっかりと汲み取っていききたい。国も全伐を進めており、公共事業（公共造林）については、右肩上がりにはならない。部長には、この点を伝えるようにする。

○E氏

市職員の再雇用制度についてであるが、退職した職員は再雇用せずに、それぞれの地域で頑張ってもらい、代わりに若い方を雇用してもらいたい。

年金制度との結び付きがあり、全国的な国の制度である。再任用の希望があれば、受け入れなければならない。また、新規の採用も必要である。

○B氏

市職員の残業手当が年間に2億円ぐらいかかっている。その分を新規採用に充てられないのか。また、再任用の人は、特命で仕事は出来るのか。

特命での再雇用職員は、現在3名おり、専門的な部分で仕事をしている。

○F氏

要望として、開伐や植え付けがあるが、保水力のある木を植える施策が必要であると思う。あとは、維持が必要である。